

飛島における島づくり活動と

つながる人の輪

— 学生と島の6年間の活動から —

渡部陽子・高橋絵里子・木村綾・加藤友祐・阿部高洋

東北公益文科大学・飛島ふあんくらぶ

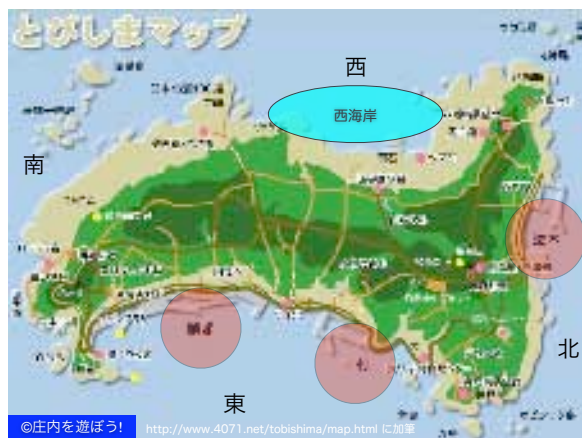
とびしまの概要



- 酒田港から北西方向に39 km
(定期船で90分、一日1から2便)
- 面積 2.32 km² 周囲 10.2 km
- 標高 69 m (高森山)、77 m (御積島)
- 人口 311人: 男144人、女167人 (平成17年7月末)
- 高齢者率 (65歳以上) 55.9%
- 暖流と寒流が交じり合い、年間平均気温が12°Cと山形県ではもっとも温暖な気候
- 生活の中心は漁業と観光。トビウオ、イカ、サザエ、アワビ、ワカメなどの豊富な海産物に恵まれる。

とびしまの自然

- 一年中、タブノキやヒサカキなどの常緑広葉樹に覆われる。タブノキの自然林の群生地としてはほぼ北限。
- 市の花であるトビシマカンゾウが6月～7月、オニユリが8月に咲く。
- 全国でも有数のウミネコの繁殖地として知られている。
- 春から夏にかけて、繁殖のために御積島の海底にドチザメが集まる。



飛島における学生活動 6年間の歩み

2001年度 飛島との出会い

- 公益自由研究の夏合宿で初めて飛島に。
- 島の魅力と海洋漂着ゴミ問題を知る。





2002年度 クリーンアップ活動 と島づくり活動への参加

○飛島クリーンアップ作戦への参加。

(多様な主体による実行委員会、作業道の整備、
学生が実行委員長)

○島づくり活動

(島民座談会の実施、離島振興計画策定のための調査)



2002年度 クリーンアップ活動 と島づくり活動への参加

○飛島クリーンアップ作戦への参加。

(多様な主体による実行委員会、作業道の整備、
学生が実行委員長)

○島づくり活動

(島民座談会の実施、離島振興計画策定のための調査)



2003年度 全国との交流と 島の魅力の発信活動

○離島ゴミサミット・とびしま会議開催

(全国クリーンアップ事務局、NPO法人パートナーシップオフィス
NPO法人庄内グランドワーク主催、公益大共催/会場：飛島、公益大)

○島ガイド実施・写真展開催

○島の家開設(現在休止中)



2003年度 全国との交流と 島の魅力の発信活動

離島ゴミサミット・とびしま会議開催

(全国クリーンアップ事務局、NPO法人パートナーシップオフィス
NPO法人庄内グランドワーク主催、公益大共催/会場：飛島、公益大)

○島ガイド開始・写真展開催

○島の家開設(現在休止中)



飛島写真展（飛島マリンプラザ） 2003



夏期学生活動拠点
「海と風と空の家」(島の家) 開設 2003



2004年度 自然とくらし体験活動推進 と飛島ふぁんくらぶの立ち上げ

- 飛島散策絵図&島からの風(ガイドパンフ)作成
(村松昭氏作、NPOパートナーシップオフィスと共同制作)
- 自然体験活動・ツアーの開催
- 天保そば・ゴドイモ収穫感謝祭のスタート
～飛島音頭&小唄復活～
- 飛島ふぁんくらぶの立ち上げ(飛島を愛する島内外の
仲間のゆるやかなネットワーク)

NPOパートナーシップオフィスと大学の協働による
飛島散策絵図発行と島ガイドパンフの制作



遊佐町立西遊佐小
まつのっこ飛島めぐり隊 0408



大場満郎のやまがた冒険学校
(山形県・JR東日本主催) 0408



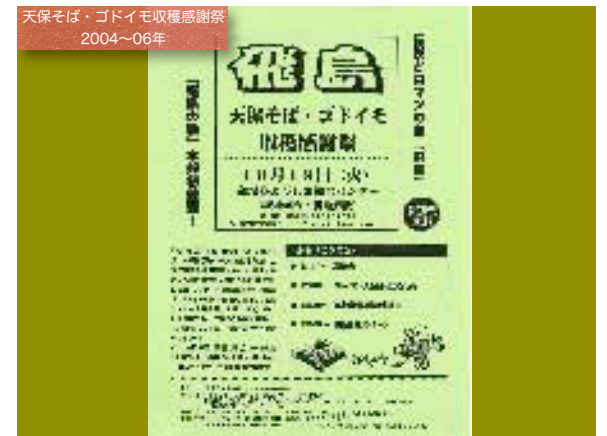
山形青年会議所主催
わんぱくアドベンチャーIN飛島04~05
県内他大学生と共にスタッフ参加



「飛島こども夏祭り&夕陽コンサート」中止と
台風被害ボランティア 0408



天保そば・ゴドイモ収穫感謝祭
2004~06年



天保そば・ゴドイモ収穫感謝祭における
飛島音頭と小唄の復活 04～06年



天保そば・ゴドイモ収穫感謝祭における
寸劇上演 05・06年



飛島ふあんくらぶの立ち上げ 2004から



2005年度 協働の輪の拡大 と他島との交流

- ごども食べさせ隊、天保そば保存会との協働の促進
- 島民との協働：トビシマカンゾウ保全と荒崎展望台づくり
- 東北離島交流懇談会の開催(宮城県田代島・網地島)
→ (財)日本離島センターと共催/田代島にて、若者の視点を
島づくりに活かすワークショップも開催。
- 大学コンソーシアムやまがた「夏のやまがた学校 in 飛島」

ごども食べさせ隊
との協働
～収穫のお手伝い～



天保そばを守る会との協働
～種まきと収穫のお手伝い～



何気ないお茶飲み話からはじまる島づくり



島民との協働：トビシマカンゾウ保全活動
& 荒崎展望台づくり 0510



田代島におけるワークショップ 0509・0602

東北離島交流懇談会 0510





大学コンソーシアムやまがた
夏のやまがた学校 in 飛島 0508



全国なぎさシンポジウム in 山形 0510

2006年度 国際交流の開始 と飛島ふぁんくらぶ内のさらなる交流

- 国際クリーンアップ&ワークショップ in 山形2006開催
(主催: 国連環境計画・北西大西洋地域海行動計画NAWPAP
共催: 日韓NGO、会場: 公益大、最上川河口、飛島)
- 飛島ふぁんくらぶ・意見交換会(島民と島の応援団)
の実施
- 飛島いきいき体験スクールへの企画からの参加
(酒田市立宮野浦小)



国際クリーンアップ&ワーク
ショップ in 山形 0609



とびしま学生ガイド
(国際クリーンアップ&ワーク
ショップ in 山形) 0609



飛島ふぁんくらぶ・意見交換会 0610



宮野浦小・いきいき体験スクール
0606



最新情報!! 今朝のイベント

宮野浦小
「ふれあい文化フェスティバル」
にて、
小学生と公益大生が
飛島首頭を披露

活動を通して感じたこと

- あるがままの自然や暮らしの智恵に触れ、その魅力・大切さを知り、伝え守りたいと思うようになった。
- 継続して島を訪れたことで、様々な信頼関係が築けていることの実感が湧いてきた。
- ゆっくりとした島の時間の中で、島民と話し合い、自然の流れに合わせて活動を行うことが「私たちのスタイル」。
- 私たちは、まちづくりのためのまちづくりをやるために飛島に通っているのではない。飛島が好きだから通い続ける。飛島という地域があり、そこに私たち学生が無理なく自然に入っていくことが、本当のまちづくりにつながっていくのだと思う。

私たちの思い

“愛”こそ地域づくりの原点：6年もの間、幾度となく島に通うことにより、島の人々や自然との心のつながりができました。「島が好き！」という気持ちが、私たちの活動の原動力です。

信頼関係の上にすべてが花咲く：さまざまな方との交流や自然と向き合うことで、信頼関係を築かれ、その信頼関係によって、活動が思いがけず良い方向に発展してきました。

「必要性のある活動、役に立っている実感のある活動」と「楽しさ、よろこび、感動」が活動の両輪です。

多様な主体の協働、そして地元から全国、海外との協働が元気の源：学生活動の枠を越えて、島民や島の応援団、国内外のさまざまな活動と響き合うことが、この活動のもう一つの魅力です。

学生の活動はみんなの潤滑油：目的主義になりがちな社会人の活動の中で、学生が純粋な思いで活動をすることで、みんなの活動をつなげる役目を果たしています。

みんなの思いを聞くのも私たちの役割：お茶飲み話をしながら島をめぐり、島の方々や自然の本当の声を聞き、伝え、実現していきたいと願っています。

私たちの活動で、飛島を少しでも元気にしていきたい。

私たちの島通いは、これからも続きます

ありがとうございました。
島でお会いしましょう！

